

本講義資料のご利用にあたって

本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。

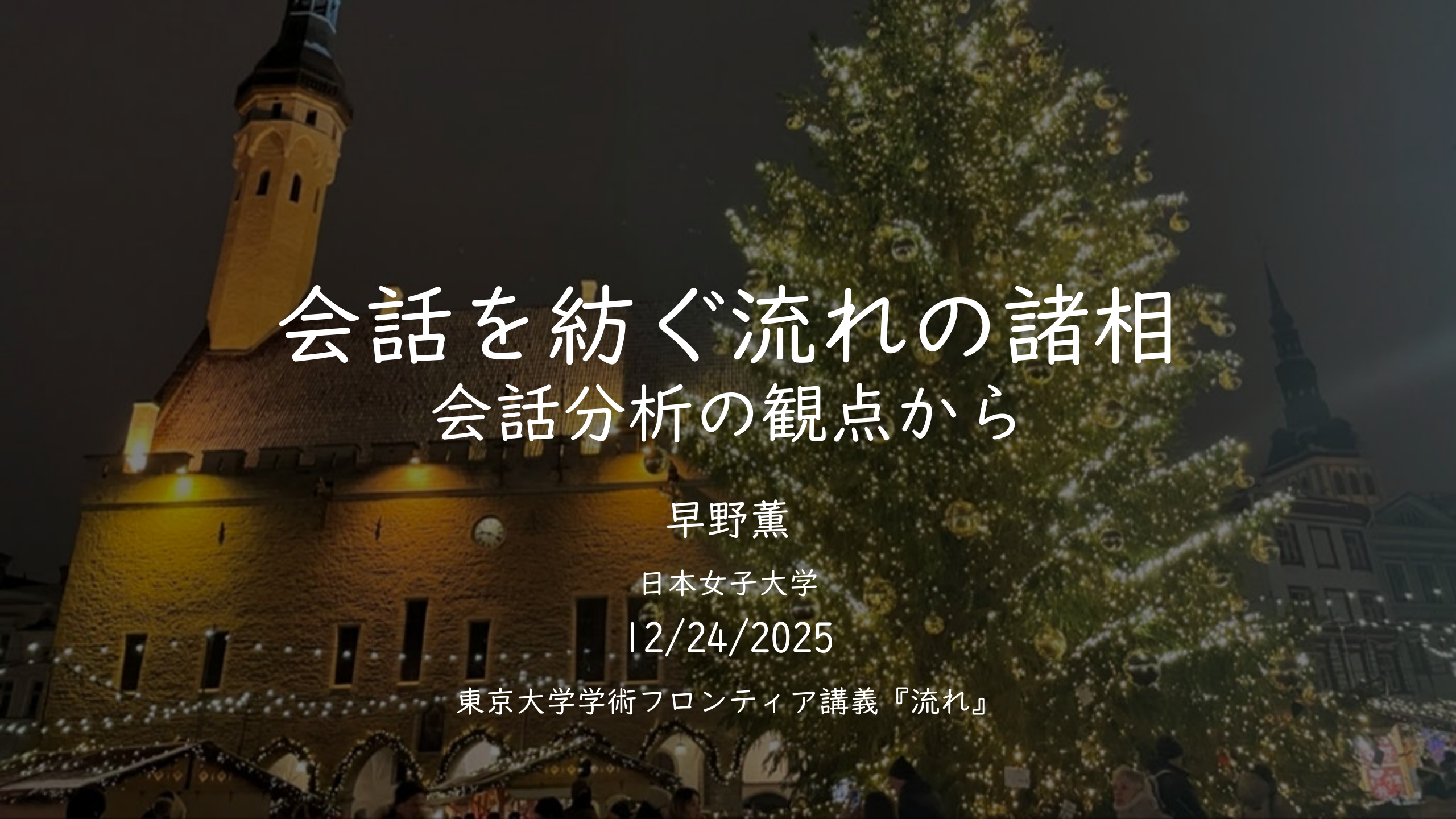
著作権が東京大学の教員等に帰属する著作物については、非営利かつ教育的な目的に限り複製および再配布することができます。

ご利用にあたっては、以下のクレジットを明記してください。

クレジット：

UTokyo Online Education 学術フロンティア講義 2025S 早野 薫





会話を紡ぐ流れの諸相

会話分析の観点から

早野薫

日本女子大学

12/24/2025

東京大学学術フロンティア講義『流れ』

さまざまな「流れ」

- 第1回 語りの「流れ」
- 第2回 河川の「流れ」
- 第3回 効率化の「流れ」
- 第4回 社会を変える人の「流れ」
- 第5回 政治の「流れ」
- 第6回 水の「流れ」
- 第7回 意識の「流れ」
- 第8回 災害／混雑時の人の「流れ」
- 第9回 教育の「流れ」
- 第10回 デジタル情報空間の「流れ」
- 本日 会話の「流れ」
- 第12回 マグマの「流れ」
- 第13回 時の「流れ」

人（々）が紡ぐ「流れ」

- 第1回 語りの「流れ」
- 第2回 河川の「流れ」
- 第3回 効率化の「流れ」
- 第4回 社会を変える人の「流れ」
- 第5回 政治の「流れ」
- 第6回 水の「流れ」
- 第7回 意識の「流れ」
- 第8回 災害／混雑時の人の「流れ」
- 第9回 教育の「流れ」
- 第10回 デジタル情報空間の「流れ」
- **本日 会話の「流れ」**
- 第12回 マグマの「流れ」
- 第13回 時の「流れ」

会話の流れ

流れを読む

流暢

流れをぶったぎる

立板に水

人（々）が紡ぐ「流れ」

- 第1回 語りの「流れ」
- 第2回 河川の「流れ」
- 第3回 効率化の「流れ」
- 第4回 社会を変える人の「流れ」
- 第5回 政治の「流れ」
- 第6回 水の「流れ」
- 第7回 意識の「流れ」
- 第8回 災害／混雑時の人の「流れ」
- 第9回 教育の「流れ」
- 第10回 デジタル情報空間の「流れ」
- **本日 会話の「流れ」**
- 第12回 マグマの「流れ」
- 第13回 時の「流れ」

会話の流れ

方向性
連続性
予測可能性

社会的規範・理解の基盤
としての流れ

会話分析 (conversation analysis)

- **会話**を成立させる組織を記述する社会学の領域
- 1960年代にカリフォルニアを拠点とする社会学者が創出
- 言語学、心理学、文化人類学などの周辺分野に影響を及ぼし続けている



著作権の都合により
画像を削除しました

Harvey Sacks

著作権の都合により
画像を削除しました

Gail Jefferson

著作権の都合により
画像を削除しました

Emanuel A. Schegloff

会話分析 (conversation analysis)

- **社会の基盤**としての相互行為研究
- **会話**を成立させる組織・秩序の記述
 - 順番に話すことを可能にする組織
 - 理解可能な発話を産出するための組織
 - 意味あるやりとりをするをするための組織
 - トラブルをすぐに解決するための組織

...**流れが紡がれていく仕組み**

著作権の都合により
画像を削除しました

Harvey Sacks

著作権の都合により
画像を削除しました

Gail Jefferson

著作権の都合により
画像を削除しました

Emanuel A. Schegloff

会話の流れ：

Progressivity (進行性)

- **moving from some element to a hearably-next-one with nothing intervening** (Schegloff 2007: 15)

ある要素から次の要素へと、間に余計なものが差し挟まれることなく進み続けること

会話の流れ：

Progressivity (進行性)

- 「要素から次の要素へと、間に余計なものが挟まれることなく進み続けるべきである」
- 「次にどんな要素が来るべきか」を互いに知らせあう
 - a. 次に来るべき要素の産出
 - b. 次に来るべき要素の産出の停滞
 - c. 次に来るべき要素ではない要素の産出

しかるべき理由があるべき有標な行為

会話の流れを紡ぐ予測可能性

(いつ・何)

流れを紡ぐ・停滞させる・捻じ曲げる

会話の流れ：

Progressivity (進行性)

2つの流れ

1) 発話産出の流れ

1 → 2 → 3 → 4 → 5...



1つの音から次の音へ
1つの単語から次の単語へ
主語から動詞へ etc.

会話の流れ：


Progressivity (進行性)

2つの流れ

1) 発話産出の流れ

1 → 2 → 3 → 4 → 5...

2) 発話連鎖の流れ

- 
- 1 母: [忘れ物ない？
2 子: [うん！
3 母: [オッケー、いってらっしゃい！
4 子: [いってきます！

1つの音から次の音へ
1つの単語から次の単語へ
主語から動詞へ etc.

1つの発話から次の発話へ
1つの連鎖から次の連鎖へ

会話の流れ： Progressivity (進行性)

2つの流れ

1) 発話産出の流れ

1 → 2 → 3 → 4 → 5...

2) 発話連鎖の流れ

↓

1	母:	忘れ物ない？
2	子:	うん！
3	母:	オッケー、いってらっしゃい！
4	子:	いってきます！

1つの音から次の音へ
1つの単語から次の単語へ
主語から動詞へ etc.

1つの発話から次の発話へ
1つの連鎖から次の連鎖へ

1) 発話産出の流れ

1 → 2 → 3 → 4 → 5...



会話を紡ぐ流れ

1) 発話産出の流れ

(1)[Jefferson 1974: 189]

Parnelli: I told that to thuh- uh-

1つの音から次の音へ
1つの単語から次の単語へ
主語から動詞へ etc.

会話を紡ぐ流れ

1) 発話産出の流れ

(1)[Jefferson 1974: 189]

Parnelli: I told that to thuh- uh- officer.

1つの音から次の音へ
1つの単語から次の単語へ
主語から動詞へ etc.

会話を紡ぐ流れ

1) 発話産出の流れ

(1)[Jefferson 1974: 189]

Parnelli: I told that to **thuh- uh- officer.**

著作権の都合により
画像を削除しました

Gail Jefferson

会話を紡ぐ流れ

1) 発話産出の流れ

(1)[Jefferson 1974: 189]

Parnelli: I told that to thuh-

----> 子音で始まる名詞を予告

会話を紡ぐ流れ

1) 発話産出の流れ

(1)[Jefferson 1974: 189]

Parnelli: I told that to thuh- uh-

トラブル
発生

会話を紡ぐ流れ

1) 発話産出の流れ

(1)[Jefferson 1974: 189]

Parnelli: I told that to thuh- uh- officer.

トラブル
発生

この語を産出する
上でのトラブル

会話を紡ぐ流れ

1) 発話産出の流れ

(1)[Jefferson 1974: 189]

Parnelli: I told that to thuh- uh- officer.

「一体どんな
トラブル...?」

トラブル
発生

この語を産出する
上でのトラブル

会話を紡ぐ流れ

1) 発話産出の流れ

子音で始まる単語を産出し
かけて母音で始まる単語に
置き換えた

cop → officer

(1)[Jefferson 1974: 189]

Parnelli: I told that to thuh- uh- o officer.

トラブル
発生

この語を産出する
上でのトラブル

Jefferson, G. (1974). Error correction as an interactional resource. *Language in Society*, 3(2), 181–199.

会話を紡ぐ流れ

1) 発話産出の流れ

【Jefferson (1978)】

- mm-hm
- nah
- emm

【早野 2024; Hayano & Hayashi 2023】

- うん
- ううん
- う～ん



定延利之・丸山岳彦・遠藤智子・
舩橋瑞貴・林良子・モクタリ明子編
『流暢性と非流暢性』ひつじ書房

『Responding to
Polar Questions
across Languages
and Contexts』

著作権の都合により
画像を削除しました

肯定
否定
言い淀み
類似性の利用

Jefferson, G. (1978). "What's in 'Nyem'?". *Sociology*, 12(1), pp. 135–139.

会話を紡ぐ流れ

1) 発話産出の流れ

(2) [CallHome JPN: 1041 0m50s] (早野 2024; Hayano & Hayashi 2023)

- 01 美香: [で昨日]
02 英夫: う:んどうした[の: そ- そ
03 美香: [マ- ママと会った.
04 英夫: あ:ん 18 ン'ち 来た
05 美香: う:ん=
06 英夫: =名古屋 [(ほんと-) すごく暑かったでしょ..
07 美香: [あ



会話を紡ぐ流れ

1) 発話産出の流れ

(2)[CallHome JPN: 1041 0m50s] (早野 2024; Hayano & Hayashi 2023)

06 英夫: =名古屋 [(ほんと-) すごく暑かったでしょ:.

07 美香: [あ

08 美香: → #う:#:んと う:↓ん まあ き↑のうはでもね:.

09 英夫: んん

10 美香: → あの: ちょっと: (0.5) あの:: すず- ↓涼しい

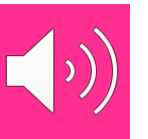
11 → っていうか [今までに比べたら=

12 英夫: [んん

13 美香: → =涼しい [って感じだったけど[:.

14 英夫: [んん [んん

15 美香: → 暑かったよ? [でもほら. ホテル行ったり来たりしてたから:.



会話を紡ぐ流れ

1) 発話産出の流れ

(2)[CallHome JPN: 1041 0m50s] (早野 2024; Hayano & Hayashi 2023)

06 英夫: =名古屋 [(ほんと-) すごく暑かったでしょ:]

07 美香: [あ

08 美香: → #う:#:んと う:↓ん まあき↑のうはでもね:,



逡巡

逡巡した
挙句の肯定

逡巡の
内訳説明

会話を紡ぐ流れ

1) 発話産出の流れ

(2)[CallHome JPN: 1041 0m50s] (早野 2024; Hayano & Hayashi 2023)

06 英夫: =名古屋 [(ほんと-) すごく暑かったでしょ:]

07 美香: [あ

08 美香: → #う:#:んと う:↓ん まあ き↑のうはでもね:,

09 英夫: んん

10 美香: → あの: ちょっと: (0.5) あの:: すず- ↓涼しい

11 → っていうか [今までに比べたら=

12 英夫: [んん

13 美香: → =涼しい [って感じだったけど[:,

14 英夫: [んん [んん

15 美香: → 暑かったよ? [でもほら. ホテル行ったり来たりしてたから:,

質問を肯定

+

質問の「示唆」への抵抗

会話を紡ぐ流れ

1) 発話産出の流れ

(3) [CallFriend JPN 6666 14m26s] [Hayano & Hayashi 2023]

- 01 理恵: .hh そんで: なに:? 最近はもうお医者さん
02 行ってないの?
03 順子: → .hh (0.2) う::↓ん まあ行ってんだけどね,
04 理恵: ん:ん,
05 (0.3)
06 順子: → でもまあちょっとそっちのほうはたいして
07 → 変わらないし↓さ



会話を紡ぐ流れ

1) 発話産出の流れ

(3) [CallFriend JPN 6666 14m26s] [Hayano & Hayashi 2023]

01 理恵: .hh そんで: なに:~? 最近はもうお医者さん

02 行ってないの?

03 順子: → .hh (0.2) う::↓ん まあ行ってんだけどね,



逡巡

逡巡した
挙句の肯定

逡巡の
内訳説明の不在

会話を紡ぐ流れ

1) 発話産出の流れ

(3) [CallFriend JPN 6666 14m26s] [Hayano & Hayashi 2023]

01 理恵: .hh そんで: なに:? 最近はもうお医者さん
02 行ってないの?

03 順子: → .hh (0.2) う::↓ん まあ行ってんだけどね,

04 理恵: ん:ん,

05 (0.3)

06 順子: → でもまあちょっとそっちのほうはたいして

07 → 変わらないし↓さ

質問を肯定→否定（白状）

+


この話題について
語ることへの抵抗

会話を紡ぐ流れ

1) 発話産出の流れ

- 発話産出は**滞りなく流暢に流れていくこと**が**規範**として期待される
- 言い淀む、言い換える、挟む、などの**滞り**は、「**規範からの逸脱**」として、それ自体が相互行為上の資源として利用され、理解される

2) 発話連鎖の流れ

- 
- 1 母: [忘れ物ない？
 - 2 子: [うん！
 - 3 母: [オッケー、行ってらっしゃい！
 - 4 子: [行ってきます！

会話を紡ぐ流れ

2) 発話連鎖の流れ

(4)' [Merritt 1976: 333/ Levinson 1983:304]

- 1 Customer: [May I have a bottle of Mich?
- 2 Bartender: [Right away.
- 3 Customer: [Thank you.
- 4 Bartender: [Thank you!



会話を紡ぐ流れ

2) 発話連鎖の流れ

(4) [Merritt 1976: 333/ Levinson 1983:304]



1 Customer: May I have a bottle of Mich?

2 Bartender: Are you 21?

3 Customer: No.

4 Bartender: No.

しかるべき理由で
流れを停滞

1への応答の
留保



会話を紡ぐ流れ

2) 発話連鎖の流れ

(4) [Merritt 1976: 333/ Levinson 1983:304]



1 Customer: May I have a bottle of Mich?

2 Bartender: Are you 21?

3 Customer: No.

4 Bartender: No.

しかるべき理由で
流れを停滞


1への応答の
留保



会話を紡ぐ流れ

2) 発話連鎖の流れ

(4) [Merritt 1976: 333/ Levinson 1983:304]

- 
- 1 Customer: **May I have a bottle of Mich?**
 - 2 Bartender: **Are you 21?**
 - 3 Customer: **No.**
 - 4 Bartender: **No.**

しかるべき理由
= 1 に応答するための
条件確認

会話を紡ぐ流れ

2) 発話連鎖の流れ

(5) [早野2023] [CEJC T021_010]

01 紀香: 休↑め[ないの?]

02 節子: [きのうが休[み]

03 太郎: [ね: 何時 [に帰る]の:??]

04 紀香: [あ::]

05 (0.8)

06 紀香: もう ↑ ちょっとだ[↓ね:]

07 節子: [あと] すこし [待っててね

08 紀香: [録音したら



会話を紡ぐ流れ

2) 発話連鎖の流れ

(5) [早野2023] [CEJC T021_010]

01 紀香: 休↑め[ないの?]

02 節子: [きのうが休[み

03 太郎: [ね: 何時 [に帰る]の:?

04 紀香: [あ::]

05 (0.8)

06 紀香: もう ↑ ちょっとだ[↓ね:]

07 節子: [あと] すこし[待っててね

08 紀香: [録音したら



会話を紡ぐ流れ

2) 発話連鎖の流れ

(5) [早野2023] [CEJC T021_010]

01 紀香: 休↑め[ないの?]

02 節子: [きのうが休[み

03 太郎:

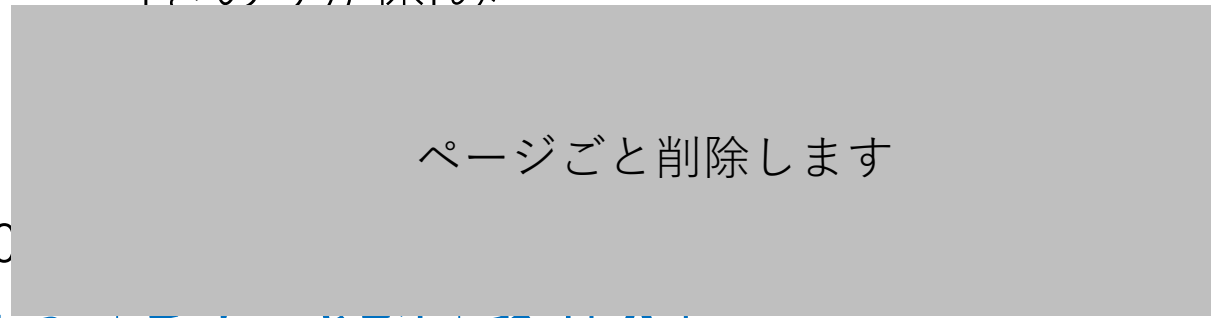
04 紀香:

05

06 紀香:

07 節子:

08 紀香:



(C

もっ | ちよつとた[↓ね:] **A**

[あと] すこし[待っててね] **A2**

[録音したら

しかるべき理由で
流れを停滞

2) 発話連鎖の流れ

(5) [早野2023] [CEJC T021_010]

01 紀香: 休↑め[ないの?]

02 節子: [きのうが休[み

03 太郎: [ね: 何時 [に帰る]の:?
[Q]

04 紀香: [あ::]

05 (0.8)

06 紀香: もう ↑ ちょっと だ[↓ね:]
[A]

07 節子: [あと] すこし [待っててね]
[A2]

08 紀香: [録音したら

しかるべき理由で
流れを停滞

まだ帰れないことの
責任者としての
応答

会話を紡ぐ流れ

2) 発話連鎖の流れ

(5) [早野2023] [CEJC T021_010]

01 紀香: 休↑め[ないの?]

02 節子: [きのうが休[み]

03 太郎: [ね: 何時 [に帰る]の:?
Q

04 紀香: [あ::]

05 (0.8)

06 紀香: もう ↑ ちょっと だ[↓ね:] A

07 節子: [あと] すこし [待っててね] A2

08 紀香: [録音したら

09 進治: (これ)=

10 紀香: =んん

11 (0.2)

12 節子: だって ↑ 近所 だから ↑ ↑ いい じゃん ↓ 白井邸は:



しかるべき理由で
流れを停滞

まだ帰れないことの
責任者としての
応答

2) 発話連鎖の流れ

(6) 頭数 [CEJC T017_008 11:43]

- 01 松井: [あ:の:: まあ そそれこそ \$本題になるんだけど:, \$
02 あの mまず まあ 岡崎さんは おそらくもう そのまま そ そっくり
03 そっくりば:っ[とこう (0.2) 行かれると思(h)うんだけど:,
04 岡崎: [いや いや いや: そ(んなゆわか)
05 (0.2)
06 松井: わたしも:: >一応< お手伝いさしていただく形で 考えてていいの_=
07 真鍋: =もう うん うん もう かんが[え あたま数 入ってんだ=
08 松井: [はい
09 岡崎: =[() 頭数 入ってんでしょう [()
10 松井: =[頭数入ってる [で
11 松井: で: () の時期って一応:



2) 発話連鎖の流れ

(6) 頭数 [CEJC T017_008 11:43]

- 01 松井: [あ:の:: まあ そそれこそ \$本題になるんだけど:, \$
02 あの mまず まあ 岡崎さんは おそらくもう そのまま そ そっくり
03 そっくりは:っ[とこう (0.2) 行かれると思(h)うんだけど:,
04 岡崎: [いや いや いや: そ(んなゆわか)
05 (0.2)
06 松井: **わたしも:: >一応< お手伝いさしていただく形で考えてていいの_=**
07 真鍋: =もう うん うん もうかんが[え あたま数 入ってんだ=
08 松井: [はい
09 岡崎: =[() 頭数 入ってんでしょう [()
10 松井: =[頭数入ってる [で
11 松井: で: () の時期って一応:



2) 発話連鎖の流れ

(6) 頭数 [CEJC T017_008 11:43]

- 01 松井: [あ:の:: まあ そそれこそ \$本題になるんだけど:, \$
02 あの mまず まあ 岡崎さんは おそらくもう そのまま そ そっくり
03 そっくりは:っ[とこう (0.2) 行かれると思(h)うんだけど:,
04 岡崎: [いや いや いや: そ(んなゆわか)
05 (0.2)
06 松井: **わたしも:: >一応< お手伝いさしていただく形で考えてていいの_=** **Q**
07 真鍋: **=もう うん うん もうかんが[え あたま数 入ってんだ=** **A**
08 松井: [はい
09 岡崎: =[() 頭数 入ってんでしょう [()
10 松井: =[頭数入ってる [で
11 松井: で: () の時期って一応:

2) 発話連鎖の流れ

(6) 頭数 [CEJC T017_008 11:43]

- 01 松井: [あ:の:: まあ そそれこそ \$本題になるんだけど:, \$
02 あの mまず まあ 岡崎さんは おそらくもう そのまま そ そっくり
03 そっくりは:っ[とこう (0.2) 行かれると思(h)うんだけど:,
04 岡崎: [いや いや いや: そ(んなゆわか)
05 (0.2)
06 松井: **わたしも:: >一応< お手伝いさしていただく形で考えてていいの_=** **Q**
07 真鍋: **=もう うん うん もうかんが[え あたま数 入ってんだ=** **A**
08 松井: [はい
09 岡崎: **=[() 頭数 入ってんでしょう [()** **A2**
10 松井: =[頭数入ってる [で
11 松井: で: () の時期って一応:

2) 発話連鎖の流れ

(6) 頭数 [CEJC T017_008 11:43]

- 01 松井: [あ:の:: まあ そそれこそ \$本題になるんだけど:, \$
02 あの mまず **まあ 岡崎さんはおそらくもう そのまま そ そっくり**
03 **そっくりは:っ[とこう (0.2) 行かれると思(h)うんだけど:,**
04 岡崎: [いや いや いや: そ(んなゆわか)
05 (0.2)
06 松井: **わたしも:: >一応< お手伝いさしていただく形で考えてていいの_ =** Q
07 真鍋: **=もう うん うん もう かんが [え あたま数 入ってんだ=** A
08 松井: [はい
09 岡崎: **=[() 頭数 入ってんでしょう [()** A2
10 松井: = [頭数入ってる [で
11 松井: で: () の 時期 って一応:

質問→応答
+
自己卑下→否定／褒め

まとめ

会話を紡ぐ流れと会話分析

会話を紡ぐ流れは...

- 2人以上の人が
- 順番に発話することで
- 紡ぐ

- 次に何が来るべきかを示し合う
- 期待どおりの要素も、期待に反した要素も、会話の流れにおける位置づけにおいて理解される
- **相互行為におけるふるまいは、会話の流れに依存し、同時に会話を紡ぐ一手となる**

参考文献

- 早野薫. 2023. 「質問に対する2つ（以上）の応答：応える権利・義務の諸相」小宮友根, 黒嶋智美（編）『実践の論理を描く：相互行為のなかの知識・身体・こころ』 pp. 24-40. 勁草書房.
- 早野薫. 2024. 「『うん』と『う～ん』のはざま：相互行為の資源としての非流暢性」定延利之他（編）『流暢性と非流暢性』 pp. 171-189. ひつじ書房.
- Hayano, K. and M. Hayashi. (2023). Post-confirmation modifications in response to polar questions. In G. Bolden, J. Heritage, and M.-L. Sorjonen (eds.), *Responses to Polar Questions across Languages and Contexts*. pp. 272-300. John Benjamins.
- Jefferson, G. (1974). Error correction as an interactional resource. *Language in Society*, 3(2), 181-199.
- Jefferson, G. (1978). "What's in 'Nyem'?". *Sociology*, 12(1), pp. 135-139.
- Koiso, H., Amatani, H., Den, Y., Iseki, Y., Ishimoto, Y., Kashino, W., Kawabata, Y., Nishikawa, K., Tanaka, Y., Watanabe, Y., & Usuda, Y. (2022). Design and evaluation of the Corpus of Everyday Japanese Conversation. In *Proceedings of LREC2022* (pp. 5587-5594). ELRA.
- Levinson, S.C. (1983). *Pragmatics*. Cambridge Univ. Press.
- MacWhinney, B., and J. Wagner. (2010). Transcribing, Searching and Data Sharing: The CLAN Software and the TalkBank Data Repository. *Gesprachsforschung* 11: 154-173.
- Merritt, M. 1976. On questions following questions in service encounters. *Language in Society*, 5(3), 315-57.
- Schegloff, E.A. (2007). *Sequence Organization in Interaction: A Primer in Conversation Analysis*. Cambridge Univ. Press.